



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.115

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2017.10

医療法人社団 仁恵会 平成29年度『永年勤続表彰式』を行いました

仁恵会グループでは、永年勤続表彰制度を設け、勤続10年、20年に達する正職員を対象に、永年にわたる貢献、功績に感謝し賞状並びに記念品を贈呈しています。

この度、9月4日（月）の全体朝礼後、平成29年度「永年勤続表彰式」を挙行し、勤続20年を迎えた職員1名と勤続10年を迎えた職員4名が表彰され、当日出席した表彰者3名が石井院長との記念撮影を行いました。

当グループでは、今後も全職員の技術向上、教育に取り組み、地域に貢献できる医療・介護を提供すべく人材育成に努めて参ります。

●永年勤続者の方々より、一言メッセージを頂戴しました

20th

看護師としてじんけいクリニックに入職し、透析医療一筋に歩み、早20年が経ちました。これまで多くの先生方、諸先輩にお世話になり、ここまで勤めることが出来たことを感謝します。現在は看護師長として、透析患者様に「安全・安心」の医療を提供すべくスタッフ一同日夜頑張っています。



じんけいクリニック 看護師長 中村 祐司



石井院長と共に：石井病院5階ベランダにて

10th

就職当初から今まで、支えてくださったすべての方に感謝します。これからも初心を忘れず、目標を持ち、責任感を持って仕事に取り組みます。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



石井病院 看護師 穂積 彩子

10th

パート8年、常勤10年、家庭と仕事の両立は自分が望んだ事とはいえ、精神的、肉体的にもきついものがありました。今回、永年勤続表彰を頂けたのは、周囲の方々の支えもあり続けてこれた結果です。現状に満足する事なくこれからもがんばります。



石井病院 准看護師 橋本 幸子

10th

この度は、永年勤続表彰を頂き、ありがとうございました。ここまで頑張れたのも、周りで支えて下さった方々のお蔭だと思っております。これからは日々感謝の気持ちを忘れず、患者様やご家族の立場に寄り添い、「この病院に入院して良かった」と思って頂ける看護を提供していきたいと思っております。



石井病院 准看護師 上本 智子

10th

永年勤続表彰をして頂きありがとうございました。医事課職員として約10年勤務させて頂き、じんけいクリニックに来て1年半を迎えました。初心を忘れることなく、今後がんばっていききたいと思います。



じんけいクリニック 事務 岸田 宏美



昔から男は50歳までは仕事で、それを過ぎたら排尿と闘わねばならない、と申しますが、昨今の日本では50どころか60、いやいや65歳でもまだまだ仕事で闘わねばならない中高年男性がほとんどと思われます。必ずしも少ないとはいえないストレス社会との認識から、何もやる気がしない、身体が何となくだるい、などといった症状を自覚した場合、多くの方はうつ病ではないか、心療内科に行かねば、と考えがちのように思われます。

しかしもしかしたら、ひょっとしたら、その症状は男性更年期障害(LOH症候群)かもしれません。女性だけの症状と思われがちな更年期障害ですが、実は男性にもあることが、欧米で1980年代、日本では2000年代頃から明らかとなってきました。男性の場合、女性と違ってまだまだ認知度が低く、自分が更年期障害だと気付かれない方も多いようです。また認知度の低さから、日本には約600万人の潜在患者がいると推計されていますが、特に中高年の働き盛りの方々が要注意と言われています。加齢とともに男性ホルモン(テストステロン)は減少してくるのですが、現代社会では60歳以上の年代よりも、40~50歳代の方がテストステロンの分泌量が少ないという、ショッキングなデータも報告されています。

男性更年期障害の正式な名称は「加齢男性性腺機能低下症候群 (late-onset hypogonadism: LOH症候群)」といえます。加齢に伴ってテストステロンが減少して、次のようなさまざまな症状(大きく分類し3種類)が出現してくると言われています。

- ◆ **身体症状**：発汗、ほてり、睡眠障害、記憶・集中力の低下、メタボリック症候群
- ◆ **精神症状**：落胆、抑うつ
- ◆ **性功能関連症状**：性欲低下、勃起障害(ED)、射精感減退



体内で作られる男性ホルモンの量が減少すると、意欲や集中力が低下し、眠りが浅くなり、睡眠障害が出てきます。また、性欲が少なくなり、ED傾向も出現します。

男性更年期障害を主に扱うのは泌尿器科ですが、診断は問診と男性ホルモン(遊離テストステロン)などのホルモン値を午前中に測定することで行います。

治療としてまず重要なのは、運動です。特に水泳、ウォーキング、ジョギングなどの有酸素運動が薦められています。また幼少時を思い出させるキャッチボールもお勧めです。ストレスを発散させるカラオケも有効とされます。禁煙も重要です。病院での治療ではホルモン補充療法が有効です。2~3週間ごとに筋肉注射を行ってテストステロンを補う治療法や、男性ホルモン軟膏(グローミン軟膏)を1日1~2回陰囊の皮膚に塗る治療法があります。

じんけいクリニックでは、日々の泌尿器科外来枠でこの男性更年期障害の診断治療を受け付けています。ご希望の方は遠慮なくご利用いただければと思います。外来受診時、特に予約の必要はありませんが、テストステロンの採血は午前中が必須のため、少なくとも初診時だけは、午前中の受診をお願いいたします。

なお、検査や治療は上述の軟膏以外、全て保険適応で、常識的範囲の自己負担で治療が可能と考えていただいて構いません。



じんけいクリニック
院長
ふくし よしひこ
福士 剛彦

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00 ~ 12:00 14:00 ~ 19:00
土曜 9:00 ~ 12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>